

地質標本館イベント 「地球なんでも相談」開催報告

兼子 尚知¹・川邊 禎久¹・森田 澄人^{1,2}・武井 勇二郎¹・常木 俊宏¹・
藤原 智晴¹・福田 和幸¹・瀬口 寛樹¹・下川 浩一¹・朝川 暢子¹・清水 裕子¹

1. はじめに

2024(令和6)年8月24日(土)に、地質標本館イベント「地球なんでも相談」を開催しました。例年、夏休み後半にこのイベントを開催していて、多くの方が夏の間に採集した鉱物・岩石・化石などの鑑定にお越しくださいます。

2. 実施内容

これは地球に関するご相談・ご質問をなんでもお受けするイベントですが、鉱物・岩石・化石といった標本鑑定のご依頼が多数を占めています。今回の内訳は、鉱物 21 件(119 個)、岩石 33 件(251 個)、化石 12 件(33 個)、地球に関するご質問は 6 件でした(計 72 件・403 個)。2019 年度は 59 件(396 個)、2023 年度は 63 件(280 個)でしたので、相談件数は年々増加しています。

予約は不要であることから、多数のご相談が集中すると待ち時間がとても長くなってしまいます。お待ちいただく時間をできるだけ短くするため、一度の申し込みについて

鑑定をお受けする個数を 10 個までとさせていただきました。また、昨年までは鑑定を地質標本館のロビーで実施していましたが、今年度はロビーで受け付けと同時に標本の仕分けをして(写真 1)、鑑定・ご相談は多目的室で行いました(写真 2)。さらに、映像室を待合室として運用し(写真 3)、進行状況の映像をリアルタイムで館内に表示するな



写真2 鑑定と説明の様子(多目的室)。



写真1 受け付けと標本仕分けの様子(ロビー)。



写真3 待合室の様子(映像室)。

1 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

2 産総研 エネルギー・環境領域再生可能エネルギー研究センター

キーワード：地質標本館、鉱物、岩石、化石、相談

ど、新たな試みを導入しました。こういった運営の改良により、混乱もなくスムーズにご相談を進めることができました。

地質標本の鑑定は、地質調査総合センターに所属する鉱物・岩石・化石それぞれを専門とする研究者が対応しました(第1表)。受け付けの際に鉱物・岩石・化石と標本の仕分けを行っておくことで、鑑定作業の効率が上がりました。地球に関するご質問は、その内容に近い専門の研究者が、臨機応変に対応しました。

第1表 鉱物・岩石・化石それぞれの担当研究者(敬称略)。

<p>【鉱物担当】</p> <p>坂野 靖行 (地質情報研究部門)</p> <p>左部 翔大 (地圏資源環境研究部門)</p> <p>柳澤 教雄 (地質情報基盤センター)</p>
<p>【岩石担当】</p> <p>村岡 やよい (地質情報研究部門)</p> <p>森田 澄人 (地質情報基盤センター：開催当時)</p> <p>川邊 禎久 (地質情報基盤センター)</p>
<p>【化石担当】</p> <p>利光 誠一 (連携推進室)</p> <p>辻野 匠 (地質情報研究部門)</p> <p>中島 礼 (地質情報研究部門)</p>

3. おわりに

参加者のアンケートには、説明が丁寧で楽しかった、わからなかったこと・疑問だったことがはっきりした、さらに興味が湧き次の手がかりを得られたなど、好意的なご意見をお寄せいただきました。多くの方が夏休みの自由研究とするようで、夏のイベントとしてすっかり定着しています。

最後になりましたが、ご協力くださった研究者のみなさまに篤くお礼申し上げます。

KANEKO Naotomo, KAWANABE Yoshihisa, MORITA Sumito, TAKEI Yuujiro, TSUNEKI Toshihiro, FUJIWARA Tomoharu, FUKUDA Kazuyuki, SEGUCHI Hiroki, SHIMOKAWA Koichi, ASAKAWA Nobuko and SHIMIZU Yuko (2025) Report on "Consultation about the Earth" at the Geological Museum.

(受付：2024年11月26日)